

---

# 乾いた喉

笹岡 伊鶴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

乾いた喉

### 【コード】

N0877U

### 【作者名】

笹岡 伊鶴

### 【あらすじ】

私にしては珍しい青春物になりました。

じりじり、じりじり。

夏の日差しは暑い。

窓側の一番後ろは特等席、だけど。

真夏も真夏。8月の補講の真っ最中に  
この席は少ししんどい。

エアコンは以ての外、教室には  
扇風機すら無い。

先生も生徒も汗だくになっているのに、  
勉強に集中出来る訳もなく。

流れる英語をBGMに、窓の外へ目を向ける。

真っ先に目に入ったのは、・・・やっぱりあいつ。

照りつける日差しすら雲に隠れてしまいそうな程、  
なんてクサイ事は言わないけれど。

それでも太陽を味方につけてる、というのは  
あながち過言でも無いんじゃないか。

と思うほど、キラキラしながらグラウンドを走ってる。

青い空に白い入道雲、そして泥に汚れたユニフォームすらよく似合ってるソイツを、ここ最近、私はよく見かける。

・・・否、彼が私の視線に気付くことは殆ど無いのだけれど。同じ制服を着た軍団の中に居てさえ、すぐに見つけてしまえる程私はいつとも一方的にソイツに目がいつてしまう。

(なーんちゃって。・・・っ！)

じっと見つめてたせいか、珍しくソイツがこちらを向いた。

否、気のせいかもしれない。

今度は顔を正面に向けたまま、目線だけを窓の外へ。

やっぱりソイツは明らかにこちらを向いていて、あるうことかブンブンと大きく手を降っていた。

瞬間、高鳴りかけた胸は、すぐに沈静化する。

たしかにソイツはコチラをむいて、手を降っていた。

でも、それは私ではなく、私の前に座る友人へ。

友人は、困ったような表情を浮かべながら、それでも小さく手を振り返した。

(そんなんだから、アイツは、)

以前、ソイツは私の前に座る彼女へと告白し、

見事にきつぱりと振られていた。

彼女には年上で知的な、野球少年のアイツとは正反対とも言えるべき彼氏がいるから。

それでも、持ち前の明るさで「しつこさ」を感じさせない程度に、ソイツは彼女へとアプローチを続けてるのだった。・・・今でも。

部活中に余所見をしてあまつさえ手まで振っていたソイツが部長に怒られ、目の前の彼女が小さく笑うところまで見て、私の視線はようやく正面の黒板へと向いた。

気づけば黒板の半分ほどは白で埋めつくされていた。

(雨が降れば、この濁きは潤うのだろうか)

溜息混じりにシャーペンを動かす。

気づけば入道雲はすぐそこまで迫っていた。

あなたは、あの人のことを愛しすぎです。

(ちよっとは周りに目を向けてみるばーかっ)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0877u/>

---

乾いた喉

2011年10月8日01時15分発行